

第？回

# ビームを使ったコミッションング

Itaru Nakagawa, Rachid Nouicer, Maya Shimomura, Genki Nukazuka,  
Raul Cecato, Cheng-Wei Shih, Jaein Hwang, Joseph Bertaux,  
Misaki Hata, Mai Kano, Manami Fujiwara, Hinako Tsujibata,  
Ryota Shishikura, Tomoya Kato

# 第 ? 回 (2023/07/24): タイミングスキャン

E-Log

## 目的

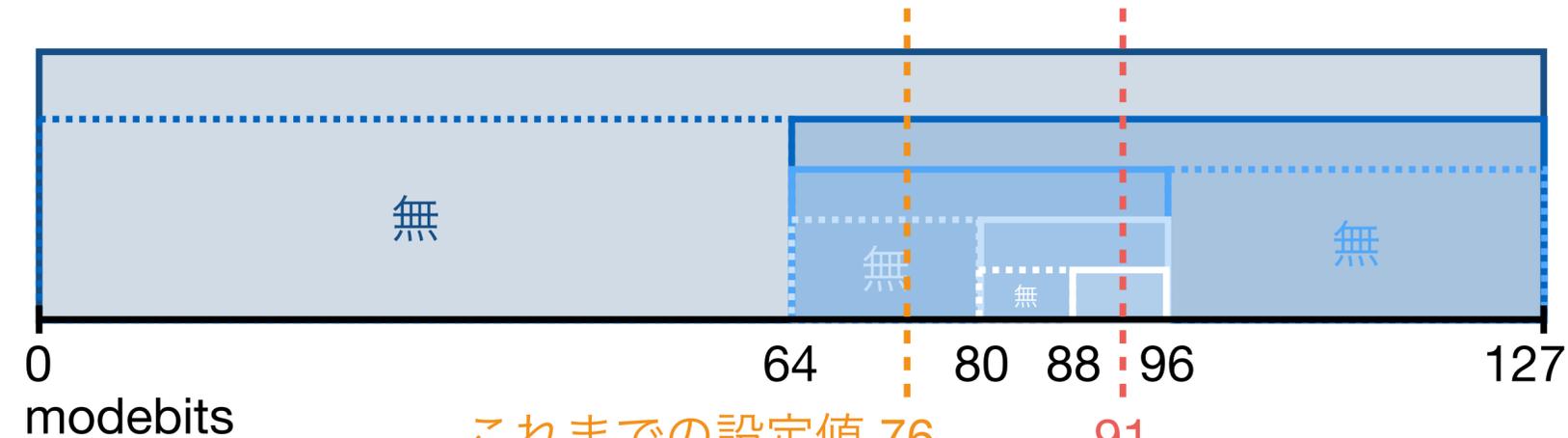
- 2023/07/22 のデータ収集でタイムインできなかった、
- Modebits を調整してタイムインする。

## 測定

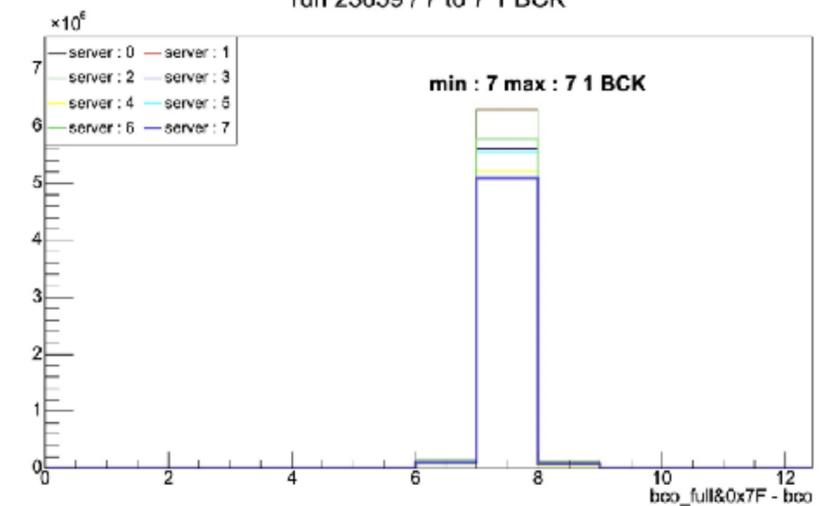
- ラン : 23642 - 23667
- n\_collisions と modebits を変えながら、タイムインできる modebits 値と最小の n\_collisions の組み合わせを見つける
  1. n\_collisions = 127 (全範囲) : ビームデータが取れた
  2. n\_collisions / 2, modebits を n\_collisions に合わせて調整しデータ収集→ビームデータの有無を確認  
例: n\_collisions = 64, modebits = 79 : ビームデータ無し、もう一つの領域にビームデータがあることを確認
  3. 手順 2 を繰り返す
- modebits = 91 がタイムインするタイミング、全 FELIX が同一 1 BCO 値でヒットを収集できた
- 測定の 2 回に 1 回は BCO 分布が 2 グループに分かれる

## 次のステップ

- DAC0 スキャン
- ラダーマップの確認
- チャンネルマスク



これまでの設定値 76 91  
run 23659 / 7 to 7 1 BCK



run 23668 / 62 to 62 1 BCK

